



VERB

NOUN

ADV

ADJ

# Parts of Speech First

— THE BEGINNING OF —  
ENGLISH INTERPRETATION

EXPLANATION NOTEBOOK

## 資料1 品詞は語尾で見抜け！

### — 英文解釈の第一歩 —

英文を正確に読むために最も大切なのは、単語の意味を覚えることではありません。まず「その単語が何詞なのか」を見抜くことです。実際、大学入試の英文では知らない単語が出てきても、語尾を見て品詞を判断できれば文構造をかなり正確に把握できます。例えば、happiness の -ness を見れば名詞、dangerous の -ous を見れば形容詞、simplify の -ify を見れば動詞、carefully の -ly を見れば副詞だと分かります。つまり、語尾は品詞を教えてくれる重要な手がかりなのです。

---

## 1 名詞を作る代表的な語尾

名詞の語尾には、「性質・状態」を表すものと、「人」を表すもの、「動作や結果」を表すものがあります。

### 1-1 性質・状態を表す語尾

-ness(happiness, darkness)は「～であること」-ty / -ity(safety, activity, beauty)は「性質・状態」-ce / -cy(difference, privacy)は「状態・性質」-th(warmth, length)は「程度・状態」

### 1-2 人を表す語尾

-er / -or(teacher, actor)は「～する人」-ist(scientist, artist)は「専門家・主義者」-ee(employee, trainee)は「～される人」-ant / -ent(assistant, student)は「～する人」

### 1-3 動作・結果を表す語尾

大学入試で特に重要なのが -tion / -ation(information, decision)と -ment(development, government)です。これらは「動作・結果」を表す名詞を作ります。英文中で見かけたら、まず名詞を疑いましょう。

### 1-4 概念・制度を表す語尾

その他にも、-ship(friendship)、-hood(childhood)、-dom(freedom)、-ics(economics)なども名詞語尾として頻出です。

---

## 2 形容詞を作る代表的な語尾

形容詞は名詞を説明する語です。語尾を見ると形容詞だと判断できる場合が多くあります。

### 2-1 「～に満ちた」を表す語尾

-ful(beautiful, careful)は「～に満ちた」-ous(famous, dangerous)は「～の特徴がある」-y(sunny, rainy)は「～でいっぱい」

### 2-2 「～できる」を表す語尾

-able / -ible(capable, possible)は「～できる」-ive(active, creative)は「～する傾向がある」

### 2-3 「～の・～的な」を表す語尾

-al(natural, social)  
-ic(historic, economic)  
-ish(childish, foolish)

なお、friendly, lovely, lively, lonely は -ly で終わっていますが副詞ではなく形容詞なので注意しましょう。

---

### 3 動詞を作る代表的な語尾

動詞の語尾は比較的少なく、主に「～にする」「～化する」という意味を持ちます。

#### 3-1 「～にする・～化する」を表す語尾

-ize / -ise(realize, globalize) / -ify / -fy(simplify, justify)  
-en(shorten, widen, strengthen) / -ate(activate, create)

---

### 4 副詞を作る代表的な語尾

副詞の語尾はほぼ -ly です。

carefully, slowly, quickly のように、形容詞に -ly が付くことで「～に」という意味の副詞になります。

---

## 資料 2 品詞は位置で見抜け！

### — 英文解釈の第二步 —

英文解釈では、単語の意味を覚えることも大切ですが、それ以上に重要なのは「その単語が何詞か」を見抜くことです。英語は語順の言語なので、単語の位置を見るだけで入る品詞がかなり限定されます。

---

#### 1 名詞の前なら形容詞

形容詞の基本的な働きは名詞を修飾することです。したがって、□ + 名詞 の形なら形容詞を疑います。a beautiful flower, the difficult problem の beautiful や difficult は形容詞です。

#### 2 SVの前なら接続詞

接続詞は文と文をつなぎます。したがって、SV □ SV の形なら接続詞が有力です。I was tired, but I continued studying. や She stayed home because it was raining. の but や because がこれに当たります。

#### 3 名詞の後ろなら前置詞

前置詞は後ろに名詞を伴います。したがって、名詞 □ 名詞 の形なら前置詞を疑います。the book on the desk, the key to success の on や to は前置詞です。

#### 4 前置詞の後ろなら名詞要素

前置詞の後ろには名詞しか置けません。正確には名詞として働くもの(名詞要素)が置かれます。in the room の room、with happiness の happiness、by studying の studying はすべて名詞要素です。

## 5 他動詞の後ろなら名詞要素

他動詞は目的語を必要とします。したがって、他動詞 □ の形なら名詞要素を疑います。I like music. の music、She bought a book. の book は名詞です。I know that he is honest. では that 節全体が名詞節として目的語になっています。

## 6 自動詞の後ろなら副詞

自動詞は目的語を取れません。そのため、自動詞の後ろには副詞が置かれることが多くなります。He runs quickly. の quickly、She smiled happily. の happily は副詞です。

## 7 be 動詞の後ろなら形容詞

be 動詞の後ろは補語になります。最もよく置かれるのは形容詞です。She is happy.、The problem was serious. の happy、serious は形容詞です。

## 8 感覚動詞・状態動詞の後ろなら形容詞

look, seem, become, feel, remain などの後ろも補語になります。He looks tired.、The plan seems impossible. の tired、impossible は形容詞です。

## 9 助動詞の後ろなら動詞原形

助動詞の後ろは必ず動詞の原形です。can speak、will arrive、must study の speak、arrive、study はすべて原形です。

## 10 to の後ろなら動詞原形

不定詞の to の後ろも動詞原形です。to study、to become、to understand の study、become、understand は原形です。

## 11 very の後ろなら形容詞・副詞

very は形容詞または副詞を修飾します。very important の important は形容詞、very quickly の quickly は副詞です。

## 12 冠詞の後ろなら名詞か形容詞

a, an, the の後ろには最終的に名詞が来ます。ただし、その前に形容詞が入ることがあります。a book、a useful book、the important problem などがその例です。

## 13 所有格の後ろなら名詞

my, your, his, her, their の後ろには名詞が来ます。my book、his idea の book、idea は名詞です。

---

### 資料3 活用形で品詞を見抜け！

— 英文解釈の第三步 —

英文解釈では、単語の位置から品詞を判断することが基本です。しかし、位置だけでなく「語尾(活用形)」から品詞を判断できる場合もあります。英語では、同じ語尾が異なる品詞を表すことがあるため、語尾を見た瞬間に可能性を複数考える習慣が大切です。

---

## 1 -(e)s なら名詞か動詞

-(e)s がついている語は、名詞の複数形か動詞の三単現のどちらかです。Two

books are on the desk.の books は複数名詞です。She plays tennis every Sunday.

の plays は三単現の動詞です。したがって、-(e)s を見たら「複数名詞か三単現か」をまず考えます。

## 2 -ed なら過去形か過去分詞

-ed は過去形にも過去分詞にもなります。

I visited Kyoto last year.の visited は過去形です。The window was broken yesterday.の broken は過去分詞です。また、I am interested in science.

の interested のように、過去分詞が形容詞として使われることもあります。

## 3 -ing なら名詞か動名詞か現在分詞

-ing は最も重要な語尾です。Reading books is important.の Reading は動名詞です。She is reading a novel now.の reading は現在分詞です。The crying baby needs milk.の crying は名詞を修飾する現在分詞です。Walking along the river, I found a wallet.の Walking は分詞構文です。さらに、Building is difficult in this area.の Building のように名詞そのもの場合もあります。

## 4 -er なら名詞か比較級

-er は二つの可能性があります。

teach → teacher / sing → singer のように「～する人」という名詞を作る場合です。一方、easy → easier / fast → faster のように比較級を作る場合もあります。したがって、-er を見たら「人を表す名詞」か「比較級」かを判断します。

## 5 -est なら最上級

-est は最上級を表します。

Mt. Fuji is the highest mountain in Japan.の highest は形容詞の最上級です。He ran fastest in the race.の fastest は副詞の最上級です。the があれば最上級を疑うことが多くなります。

## 6 -en なら動詞か過去分詞

-en は二つの働きを持ちます。strengthen / widen / shorten のように動詞を作る場合があります。また、fallen leaves broken windows の fallen や broken のように過去分詞の場合もあります。

日本語で判断すると品詞を間違えやすい最

- 1 after「後に／～の後で」…前・接・副  
前: We played soccer after school.  
(私たちは放課後サッカーをした)  
接: I went home after the lesson ended.  
(授業が終わった後、私は帰宅した)  
副: Soon after, the rain stopped.  
(その後すぐ、雨は止んだ)  
☞ after は前置詞では後ろに名詞、接続詞では後ろに S+V が続く。副詞では soon after「その後すぐ」のように使われる。
- 2 all「すべて／まったく」…形・代・副  
形: All students must read this book.  
(すべての生徒はこの本を読まなければならない)  
代: All of them passed the test.  
(彼ら全員が試験に合格した)  
副: She was all alone.  
(彼女はまったく一人だった)  
☞ all は形容詞では「すべての」、代名詞では「すべて」、副詞では all alone「まったく一人で」、all right「すっかり」のように強調を表す。
- 3 almost「ほとんど」…副  
副: Almost all students understood the rule.  
(ほとんどすべての生徒がその規則を理解した)  
☞ almost は副詞で、「ほとんど」を表す。almost all、almost always、almost impossible などの形でよく使われる。
- 4 any「いくらかの／どんな～でも／少しも」…形・代・副  
形: Do you have any questions?

- (何か質問はありますか)  
代: I do not have any.  
(私は少しも持っていない)  
副: This problem is not any easier.  
(この問題は少しも簡単ではない)  
☞ any は形容詞では「いくらかの」「どんな～でも」、代名詞では「いくらか」、副詞では比較級を強めて「少しも」の意味を表す。
- 5 as「～として／～のように／～するとき」…前・接・副  
前: He works as a teacher.  
(彼は教師として働いている)  
接: As I grew older, I changed.  
(年を取るにつれて、私は変わった)  
副: She is as tall as Ken.  
(彼女はケンと同じくらい背が高い)  
☞ as は「～として」「～するとき」「～なので」「～のように」など多くの意味を持つ重要語である。as ... as ~ の形も頻出。
- 6 before「前に／～の前で」…前・接・副  
前: Finish your homework before dinner.  
(夕食前に宿題を終えなさい)  
接: Call me before you leave.  
(出発する前に私に電話しなさい)  
副: I have seen him before.  
(私は以前彼に会ったことがある)  
☞ before は前置詞・接続詞・副詞のすべてで使われる。副詞では「以前に」の意味になる。
- 7 both「両方／両方も」…形・代・副  
形: Both brothers play tennis.  
(その兄弟は2人ともテニスをする)  
代: Both of them are kind.  
(彼らは2人とも親切だ)  
副: They both agreed with me.

- (彼らは2人とも私に賛成した)  
 ☞ both は形容詞・代名詞・副詞として使われる。both A and B は最重要表現の一つである。
- 8 each「それぞれの／それぞれ／～ずつ」  
 …形・代・副  
 形: Each student has a different opinion.  
 (それぞれの生徒が異なる意見を持っている)  
 代: Each of them received a prize.  
 (彼らはそれぞれ賞を受け取った)  
 副: The books cost ten dollars each.  
 (その本は1冊10ドルずつした)  
 ☞ each は「それぞれ」を表す。every が全体を見るのに対し、each は一つ一つに注目する。
- 9 either「どちらか一方／どちらの～でも／～もまたない」…形・代・副  
 形: You may choose either plan today.  
 (あなたは今日どちらの計画を選んでもよい)  
 代: Either of the answers is correct.  
 (その答えはどちらも正しい)  
 副: I do not like coffee either.  
 (私もコーヒーが好きではない)  
 ☞ either は肯定では「どちらか一方」、否定文では「～もまたない」を表す。either A or B は頻出。
- 10 enough「十分な／十分に／十分な量」  
 …形・副・代  
 形: She has enough time today.  
 (彼女には今日十分な時間がある)  
 副: He is old enough to work.  
 (彼は働けるほど十分に年を取っている)
- 代: Enough has been said.  
 (十分なことが言われた)  
 ☞ enough は形容詞では名詞の前、副詞では形容詞・副詞の後ろに置かれる。old enough to V は重要構文。
- 11 every「すべての／毎～」…形  
 形: Every student has a textbook.  
 (すべての生徒が教科書を持っている)  
 ☞ every は単数名詞を修飾し、動詞も単数扱いになる。every student has ~ の形に注意。
- 12 for「～のために／というのは」…前・接前  
 前: This present is for my little sister.  
 (このプレゼントは私の妹のためのものだ)  
 接: I stayed home, for I was very tired.  
 (私は家にいた。というのは、とても疲れていたからだ)  
 ☞ for は通常は前置詞だが、文語では接続詞として「というのは」の意味も表す。because に近い。
- 13 hard「難しい／一生懸命に」…形・副  
 形: This is a hard question.  
 (これは難しい質問だ)  
 副: He studied hard every day.  
 (彼は毎日一生懸命勉強した)  
 ☞ hard は形容詞と副詞で同形である。hardly は「ほとんど～ない」という別語なので注意。
- 14 how「どのように／どれほど」…疑問副・感嘆副  
 疑問副: I know how he solved the problem.  
 (私は彼がどのようにその問題を解いたか知っている)  
 感嘆副: How beautiful this flower

is!

(この花はなんて美しいのだろう)

☝ how は疑問文では「どのように」、感嘆文では「なんと～だろう」を表す。How + 形容詞/副詞 + S + V! が基本形。

- 15 however「しかしながら／どれほど～でも／どのように～しても／とはいえ」…接続副・複合関係副・副

接続副: It was raining; however, we went outside.

(雨が降っていた。しかしながら、私たちは外へ出た)

複合関係副: However hard you try, you cannot finish it today.

(どれほど一生懸命やっても、今日それを終わることはできない)

複合関係副: However you explain it, he will not agree.

(どのようにそれを説明しても、彼は同意しない)

副: Though the task was difficult, however we continued working.

(その課題は難しかった。とはいえ、私たちは作業を続けた)

☝ however は接続副詞では「しかしながら」、複合関係副詞では「どれほど～でも」「どのように～しても」を表す。また、Though S V, however S V の形では、though の内容を受けて「とはいえ／それでも」という意味を補う副詞として使われる。この位置には however だけでなく、yet や nevertheless も用いられる。

☝ however は接続副詞なので、前後をカンマだけでつなぐのは不可。セミコロンの ; は文法的に等位接続詞に近い働きをし、独立した 2 つの文を結ぶことがで

きる。そのため、S V; however, S V の形は正しい。

(×) It was raining, however we went outside.「雨が降っていた、しかしながら私たちは外へ出た」(○) It was raining; however, we went outside.「雨が降っていた。しかしながら、私たちは外へ出た」(○) It was raining. However, we went outside.「雨が降っていた。しかしながら、私たちは外へ出た」

- 16 if「もし～なら／～かどうか」…接

接・条件: If it rains, we will stay home.

(もし雨が降れば、私たちは家にいる)

接・名節: I do not know if he will come.

(彼が来るかどうか分からない)

☝ if は条件を表す接続詞では「もし～なら」、名詞節を導く接続詞では「～かどうか」を表す。

- 17 less「より少ない／より少なく」…形・代・副

形: We have less time than yesterday.

(私たちは昨日より時間が少ない)

代: I need less of this medicine now.

(私は今この薬をそれほど多く必要としない)

副: This book is less difficult than that one.

(この本はあの本ほど難しくない)

☝ less は形容詞・代名詞では「より少ない」、副詞では形容詞や副詞を修飾して「より少なく」を表す。不可算名詞に使うことが多い。

- 18 like「好きだ／～のように」…動・前・接

的用法

動:I like classical music very much.

(私はクラシック音楽がとても好きだ)

前:He runs like a professional player.

(彼はプロ選手のように走る)

接的用法:It looks like he knows everything.

(彼は何でも知っているように見える)

👉 like は動詞では「好きだ」、前置詞では「～のように」を表す。口語では like S V の形で接続詞のようにも使われる。

19 many「多くの／多数」…形・代

形:Many students joined the club.

(多くの生徒がそのクラブに入った)

代:Many of them were absent.

(彼らの多くが欠席していた)

👉 many は可算名詞の複数形を修飾する。不可算名詞には much を用いる。

20 more「より多くの／より多く／もっと」…形・代・副

形:We need more time to finish this work.

(私たちはこの仕事を終えるためにもっと時間が必要だ)

代:I want more of this delicious cake.

(私はこのおいしいケーキをもっと欲しい)

副:This question is more difficult than that one.

(この問題はあの問題より難しい)

👉 more は形容詞・代名詞では「より多く」、副詞では形容詞や副詞を修飾して比較級を作る。

21 most「ほとんどの／大部分／非常に」…

形・代・副

形:Most students passed the exam.

(ほとんどの生徒が試験に合格した)

代:Most of them agreed.

(彼らのほとんどが賛成した)

副:This book is most useful.

(この本は非常に役に立つ)

👉 most は形容詞・代名詞では「ほとんどの／大部分」、副詞では「非常に」または最上級を作る働きをする。

22 much「多くの／大部分／ずっと」…形・代・副

形:We need much information.

(私たちは多くの情報を必要としている)

代:Much of the work is finished.

(その仕事の多くは終わっている)

副:This is much better.

(これはずっとよい)

👉 much は不可算名詞を修飾し、副詞では比較級を強めて「ずっと」を表す。

23 near「近い／近くに／～の近くに」…形・副・前

形:The near future is uncertain.

(近い将来は不確かだ)

副:Please come near.

(近くに来てください)

前:My house is near the station.

(私の家は駅の近くにある)

👉 near は形容詞・副詞・前置詞で使われる。nearest は「最寄りの」という意味で頻出。

24 neither「どちらも～ない／どちらの～もない／～もまたない」…形・代・副

形:Neither answer is completely correct.

(どちらの答えも完全には正しくない)

代:Neither of them knew the

truth.

(彼らのどちらも真実を知らなかった)

副:I do not like coffee, neither does he.

(私はコーヒーが好きではなく、彼もそうではない)

☞ neither は「2つのうちどちらも～ない」を表す。neither A nor B は重要表現。

25 only「ただ～だけ／唯一の」…副・形

副:I only have one pencil today.

(私は今日、鉛筆を 1 本しか持っていない)

形:He is the only student here.

(彼はここにいる唯一の生徒だ)

☞ only は副詞では「ただ～だけ」、形容詞では「唯一の」を表す。置く位置によって意味が変わりやすい。

26 since「～以来／それ以来」…前・接・副

前:He has lived here since 2020.

(彼は 2020 年以來ここに住んでいる)

接:He has studied English since he was ten.

(彼は 10 歳のときから英語を勉強している)

副:I met him then and not since.

(私はその時彼に会ったが、それ以來会っていない)

☞ since は前置詞では後ろに名詞、接続詞では後ろに S + V が続く。現在完了と一緒に使われることが多い。

27 so「そんなに／それで／そう」…副・接・代

副:He was so tired that he slept early.

(彼はとても疲れていたので早く寝た)

接:It was late, so we went home.

(遅かったので、私たちは家に帰った)

代:I think so, too.

(私もそう思う)

副:As the body needs rest, so the mind needs quiet time.

(体が休息を必要とするように、心も静かな時間を必要とする)

☞ so は副詞では「そんなに」、接続詞では「それで」、代名詞的には「そう」を表す。また、As S V, so S V では「S が V するように、同様に S も V する」という対応関係を表す。so ~ that ...「とても～なので…」も重要構文。

28 some「いくつかの／いくらか／およそ」…形・代・副

形:Some students stayed after class.

(何人かの生徒は授業後に残った)

代:Some of them looked tired.

(彼らの何人かは疲れているようだった)

副:The meeting lasted some ten minutes.

(会議はおよそ 10 分続いた)

☞ some は形容詞・代名詞では「いくつかの／いくらか」、副詞では数詞の前で「およそ」を表す。

29 such「そのような／そのような人・もの」…形・代

形:Such mistakes are common among young learners.

(そのような間違いは若い学習者によくある)

代:Such is the power of daily practice.

(日々の練習の力とはそのようなものだ)

☞ such は形容詞では名詞を修飾し、代名詞では「そのようなもの」を表す。such A as B「B のような A」も重要。

30 that「あれ／あの／～ということ」…代・

形・接・関代・副

代: That is my favorite book.

(あれは私のお気に入りの本だ)

形: That book changed my life.

(あの本は私の人生を変えた)

接: I believe that practice matters.

(練習が重要だと私は信じている)

関係代: This is the book that I bought.

(これは私が買った本だ)

副: I was that tired.

(私はそれほど疲れていた)

☞ that は代名詞・形容詞・接続詞・関係代名詞・副詞として使われる重要語である。空所補充では後ろの文構造を見て品詞を判断する。

- 31 the「その／～すればするほど／その分だけ」…冠・接続詞扱い・指示副詞

冠: The book on the desk is mine.  
(机の上のその本は私のものだ)

接続詞扱い: The more you practice, the better you become.

(練習すればするほど、上達する)

指示副詞: The sooner, the better.

(早ければ早いほどよい)

☞ the は基本的には冠詞で、「その」を表す。ただし、the + 比較級, the + 比較級の構文では、前半の the は「～すればするほど」という意味を導くため、接続詞扱いにできる。この働きは as に近く、The more you practice は「より多く練習するにつれて」と考えられる。一方、後半の the は「その分だけ」という意味で比較級を強める指示副詞として働く。厳密には歴史的にはどちらも指示副詞だが、学習上は「前の the = 接続詞扱い、後ろの the = 指示副詞」と整理すると分かりやすい。

- 32 then「その時／それから／それなら」…

副・接続副詞

副: I was living in Kyoto then.

(私はその時、京都に住んでいた)

副: First read the question, and then choose the answer.

(まず問題を読み、それから答えを選びなさい)

接続副詞: If you are tired, then you should rest.

(疲れているなら、それなら休むべきだ)

☞ then は副詞では「その時」「それから」を表す。順序を表すときは and then の形で「そしてそれから」とする方が自然である。また、If / When S V, then S V の形では、then が前の条件・時を受けて「その場合は／その時には」という意味を表す接続副詞として働く。then は接続詞ではないため、文と文を直接つなぐ語ではなく、前の内容を受けて後文を導く副詞である。

- 33 though「～だけれども／でも」…接・副

接: Though it was raining, we went outside.

(雨が降っていたけれども、私たちは外へ出た)

副: It was difficult; I enjoyed it, though.

(それは難しかった。でも、私は楽しんだ)

☞ though は接続詞では「～だけれども」、文末・文中の副詞では「でも／もともと」を表す。although は基本的に接続詞のみ。

- 34 what「あらゆること／何」…疑代・関代・

疑問形・感嘆詞

疑問代: What do you want for your birthday?

(あなたは誕生日に何が欲しいですか)

関係代:I remember what he said yesterday.

(私は彼が昨日言ったことを覚えている)

疑問形:What color do you like best?

(あなたは何色が一番好きですか)

感嘆詞:What a beautiful flower this is!

(これはなんて美しい花なのだろう)

👉 what は疑問詞として「何」、関係代名詞として「～すること」、感嘆文で「なんて～」を表す。what S V は名詞節になることが多い。

- 35 whatever「何でも／どんな～でも／少しの～も」…複合関係代・複合関係形・副

名節:I will accept whatever you decide.

(あなたが決めることは何でも受け入れます)

名節:You may choose whatever book you like.

(あなたが好きなどんな本でも選んでよい)

副節:Whatever happens, stay calm.

(何が起こっても、落ち着いていなさい)

副:I have no doubt whatever about it.

(私はそれについて少しの疑いも持っていない)

👉 whatever は「何でも」「どんな～でも」を表す。名詞節にも副詞節にもなり、否定語とともに「少しの～も」の意味にもなる。

36

- 37 when「いつ／～するとき」…疑問副・関係副・接

名節:I know when he will arrive.

(私は彼がいつ到着するか知っている)

形節:I remember the day when we first met.

(私は私たちが初めて会った日を覚えている)

副節:Call me when you get home.  
(家に着いたら私に電話しなさい)

👉 when は疑問副詞では「いつ」、関係副詞では「～する時」、接続詞では「～するとき」を表す。名詞節・形容詞節・副詞節のどれを作るかを文中の位置で判断する。

- 38 where「どこで／～する場所」…疑問副・関係副・接

名節:I know where she lives.

(私は彼女がどこに住んでいるか知っている)

形節:This is the place where I was born.

(ここは私が生まれた場所だ)

副節:Sit where you can see the board.

(黒板が見える場所に座りなさい)

👉 where は疑問副詞では「どこで」、関係副詞では「～する場所」、接続詞的には「～する場所で」を表す。後ろには完全な文が続く。

- 39 whether「～かどうか」…接

接・名節:I wonder whether he will come.

(彼が来るかどうか私は疑問に思っている)

接・主語節:Whether he agrees is important.

(彼が賛成するかどうか重要だ)

👉 whether は「～かどうか」を表す接続詞で、名詞節を作る。主語・目的語・補

語になることができる。

- 40 which「どちら／どの」…疑問代・関係代・疑問形

疑問代: Which do you like better?

(あなたはどちらがより好きですか)

関係代: This is the book which I bought.

(これは私が買った本だ)

疑問形: Which book do you want?

(あなたはどの本が欲しいですか)

☞ which は単独なら疑問代名詞、名詞の前なら疑問形容詞、先行詞を修飾する節を導くと関係代名詞になる。

- 41 whichever「どちらでも／どの～でも」…複合関係代・複合関係形

名節: Choose whichever you like better.

(あなたがより好きな方を選びなさい)

名節: Take whichever seat you prefer.

(あなたが好むどの席でも取りなさい)

副節: Whichever you choose, I will support you.

(あなたがどちらを選んでも、私は支持します)

☞ whichever は「どちらでも／どの～でも」を表し、名詞節にも副詞節にもなる。後ろに名詞が続く場合は whichever seat のように形容詞的に働く。

- 42 while「～する間／一方で／しばらくの間」…接・名・動

副節・時: I read a book while my brother watched TV.

(弟がテレビを見ている間、私は本を読んだ)

副節・対比: Some students agreed, while others disagreed.

(賛成する生徒もいれば、反対する生徒もいた)

名: Please wait here for a while.

(ここでしばらく待ってください)

動: She whiled away the afternoon reading novels.

(彼女は小説を読んで午後の時間を過ごした)

☞ while は接続詞では「～する間」「一方で」、名詞では「しばらくの間」、動詞では while away「時間をのんびり過ごす」の形で使われる。

- 43 who「誰／～する人」…疑問代・関係代  
疑問代: Who opened the window?

(誰が窓を開けましたか)

関係代: I know the boy who won the prize.

(私はその賞を取った少年を知っている)

☞ who は疑問代名詞では「誰」、関係代名詞では人を先行詞として「～する人」を表す。後ろには不完全な文が続く。

- 44 whoever「誰でも／誰が～しても」…複合関係代

名節: I will welcome whoever comes first.

(最初に来る人は誰でも歓迎します)

副節: Whoever calls, do not answer the phone.

(誰が電話してきても、電話に出てはいけません)

☞ whoever は名詞節では「～する人は誰でも」、副詞節では「誰が～しても」を表す。文中で名詞の働きをする場合と、譲歩の副詞節を作る場合を区別する。

---

### 前置詞と副詞を持つ重要語

- 45 about「～について／あちこちに・およそ」…前・副

- 前: We talked about our school festival.  
(私たちは学校祭について話した)  
副: The children ran about in the park.  
(子どもたちは公園であちこち走り回った)  
👉 about は前置詞では「～について」、副詞では「あちこちに」「およそ」を表す。about ten people「約 10 人」の about も副詞的に使われる。
- 46 above「～の上に／上に」…前・副  
前: The picture is above the sofa.  
(その絵はソファの上にある)  
副: Look at the stars above.  
(上の星を見なさい)  
👉 above は「接していない上」を表す。on は「接して上にある」、above は「離れて上にある」と整理するとよい。
- 47 across「～を横切って／横切って」…前・副  
前: We walked across the bridge.  
(私たちは橋を歩いて渡った)  
副: The river is too wide to swim across.  
(その川は泳いで渡るには広すぎる)  
👉 across は「一方の側から反対側へ横切る」イメージ。前置詞では across the bridge、副詞では swim across のように目的語なしで使う。
- 48 along「～に沿って／一緒に」…前・副  
前: We walked along the river.  
(私たちは川に沿って歩いた)  
副: Please come along with us.  
(どうぞ私たちと一緒に来てください)  
👉 along は「長いものに沿って進む」イメージ。come along では「一緒について来る」、get along with A では「A
- とうまくやっていく」の意味になる。
- 49 around「～の周りに／周りに」…前・副  
前: They sat around the table.  
(彼らはテーブルの周りに座った)  
副: Please look around carefully.  
(注意深く周りを見てください)  
👉 around は「中心の周囲」を表す。前置詞では around the table、副詞では look around のように目的語なしで使う。また「およそ」の意味もある。
- 50 behind「～の後ろに／後ろに」…前・副  
前: The cat is behind the door.  
(その猫はドアの後ろにいる)  
副: Don't leave anyone behind.  
(誰も置き去りにするな)  
👉 behind は位置では「～の後ろに」、句動詞では leave A behind「A を置き去りにする」が重要。比喩的に「遅れている」の意味にもなる。
- 51 below「～の下に／下に」…前・副  
前: The village lies below the mountain.  
(その村は山の下にある)  
副: Please read the sentence below.  
(下の文を読んでください)  
👉 below は「基準より下」を表す。under は「真下・覆われた下」の感じが強く、below は位置や数値が基準より低い場合にも使う。
- 52 down「～を下って／下へ」…前・副  
前: They walked down the street.  
(彼らは通りを下って歩いた)  
副: Please sit down.  
(座ってください)  
👉 down は「下方向へ」のイメージ。walk down the street は必ずしも坂を下るとは限らず、「通りに沿って進む」

- の意味でも使われる。
- 53 in「～の中に／中へ」…前・副  
 前:The books are in the box.  
 (本は箱の中にある)  
 副:Come in, please.  
 (どうぞ中に入りなさい)  
 ☞ in は前置詞では in the box のように後ろに名詞を取る。副詞では Come in. のように、目的語なしで「中へ」の意味を表す。
- 54 inside「～の中に／内側に」…前・副  
 前:The children played inside the house.  
 (子どもたちは家の中で遊んだ)  
 副:Please wait inside until the rain stops.  
 (雨が止むまで中で待ってください)  
 ☞ inside は「内部」をはっきり意識する語。in よりも「内側」という境界を強く感じさせる。形容詞では inside wall 「内側の壁」のようにも使える。
- 55 near「～の近くに／近くへ／近い」…前・副・形  
 前:My house is near the station.  
 (私の家は駅の近くにある)  
 副:Come near and look carefully.  
 (近くに来てよく見なさい)  
 形:The nearest station is ten minutes away.  
 (最寄りの駅は10分離れている)  
 ☞ near は前置詞では near the station「駅の近くに」、副詞では come near「近くへ来る」、形容詞では near / nearer / nearest の形で「近い」を表す。特に nearest は「最寄りの」という意味でよく使われる。
- 56 off「～から離れて／離れて」…前・副  
 前:The boat is off the coast.  
 (その船は海岸沖にある)  
 副:Take your shoes off.  
 (靴を脱ぎなさい)  
 ☞ off は「接触していたものから離れる」イメージ。take off「脱ぐ／離陸する」、turn off「消す」など句動詞で非常に重要。
- 57 on「～の上に／続けて」…前・副  
 前:The book is on the desk.  
 (その本は机の上にある)  
 副:Please go on.  
 (続けてください)  
 ☞ on は「接触」が基本イメージ。副詞では go on「続ける」のように、動作が継続する意味を表すことがある。
- 58 outside「～の外に／外で」…前・副  
 前:A dog is waiting outside the door.  
 (犬がドアの外で待っている)  
 副:The children are playing outside.  
 (子どもたちは外で遊んでいる)  
 ☞ outside は「外側」をはっきり表す語。前置詞では outside the door、副詞では play outside のように目的語なしで使う。形容詞では outside wall 「外側の壁」も可能。
- 59 over「～の上を越えて／向こうへ」…前・副  
 前:The plane flew over the mountain.  
 (飛行機は山の上を飛んだ)  
 副:Come over this evening.  
 (今晚こちらへ来なさい)  
 ☞ over は「上を越える」「覆う」「向こうへ」のイメージ。come over は「こちらへ来る」、over the mountain は「山の上を越えて」を表す。

- 60 through「～を通過して／通り抜けて」…  
前・副  
前: We walked through the park.  
(私たちは公園を通過して歩いた)  
副: The train passed through.  
(列車は通り抜けた)  
👉 through は「内部を通り抜ける」イメージ。across が「表面を横切る」のに対し、through は「中を通る」と考えるとよい。
- 61 to「～へ／意識が戻って」…前・副  
前: I went to the library yesterday.  
(私は昨日図書館へ行った)  
副: After a while, he came to.  
(しばらくして、彼は意識を取り戻した)  
👉 to は前置詞では「到達点」を表す。come to は「意識を取り戻す」という熟語で、この to は副詞的に使われている。
- 62 under「～の下に／下へ」…前・副  
前: The ball is under the chair.  
(ボールは椅子の下にある)  
副: The boat went under.  
(その船は沈んだ)  
👉 under は「真下」「覆われた下」のイメージ。below よりも、何かの下に入り込んでいる感じが強い。
- 63 up「～を上って／上へ」…前・副  
前: They walked up the hill.  
(彼らは丘を登った)  
副: Stand up, please.  
(立ちなさい)  
👉 up は「上方向へ」のイメージ。stand up, get up, look up など句動詞で頻出する。前置詞では up the hill「丘を上って」のように使う。
- 1 abroad「海外へ／海外で」…副  
副 My brother studied abroad last year.  
(兄は昨年、海外で勉強した)  
👉 abroad は副詞なので、to abroad とは言わない。go abroad(海外へ行く)、study abroad(留学する)は頻出表現である。
- 2 ahead「前方に／先に」…副  
副 Go ahead and start first.  
(先に進んで始めなさい)  
👉 ahead は「前方に」「先に」を表す副詞である。go ahead(どうぞ進めてください)は会話で非常によく使われる。
- 3 apart「離れて／別々に」…副  
副 The two towns are far apart.  
(その2つの町は遠く離れている)  
👉 apart は「離れて」「別々に」を表す副詞である。fall apart(ばらばらになる)、tell A apart from B(AとBを見分ける)などの表現も重要。
- 4 aside「わきへ」…副  
副 Please move aside for the teacher.  
(先生のためにわきへ寄りなさい)  
👉 aside は「わきへ」「脇に」を表す副詞である。set aside(取っておく)、put aside(脇に置く)は重要な句動詞である。
- 5 away「離れて／去って」…副  
副 The dog ran away from home.  
(その犬は家から逃げた)  
👉 away は副詞で、「離れて」「向こうへ」を表す。go away(立ち去る)、run away(逃げる)、throw away(捨てる)などの句動詞でよく使われる。
- 6 back「戻って／後ろへ／支援する」…  
副・動  
副 Please come back before six.

- (6 時前に戻ってきなさい)  
 動 Many people backed the new plan.  
 (多くの人がある新しい計画を支持した)  
 ☞ back は副詞では「戻って」、動詞では「支持する」「後援する」の意味を表す。back a plan(計画を支持する)は頻出。
- 7 backward「後ろへ」…副  
 副 He stepped backward in surprise.  
 (彼は驚いて後ろへ下がった)  
 ☞ backward は「後ろへ」「逆方向へ」を表す副詞である。forward の反対語として覚えるとよい。
- 8 downstairs「下の階へ／下の階で」…副  
 副 My father is waiting downstairs now.  
 (父は今、下の階で待っている)  
 ☞ downstairs は upstairs の反対語で、「下の階へ／下の階で」を表す副詞である。
- 9 forward「前へ／転送する」…副・動  
 副 Please step forward slowly.  
 (ゆっくり前へ進みなさい)  
 動 Please forward this email to your teacher.  
 (このメールを先生に転送してください)  
 ☞ forward は副詞では「前へ」、動詞では「転送する」「促進する」を表す。forward an email は現代英語で頻出。
- 10 here「ここに／ここで」…副  
 副 Please come here right now.  
 (今すぐここに来なさい)  
 ☞ here は場所を表す副詞で、「ここに／ここで」の意味を持つ。come here、stay here のように前置詞なしで使われる。
- 11 home「家へ／家に／家」…副・名  
 副 I went home after school.  
 (私は放課後、家に帰った)  
 名 I stayed at home all day.  
 (私は一日中家にいた)  
 ☞ go home の home は「家へ」という意味の副詞なので、to は不要。一方、at home の home は前置詞 at の目的語になっているため名詞である。house は「建物としての家」、home は「生活の場・帰る場所としての家」を表す。
- 12 inside「中へ／中で／内側の」…副・形  
 副 Please come inside before it rains.  
 (雨が降る前に中へ入りなさい)  
 形 The inside wall was painted white.  
 (内側の壁は白く塗られていた)  
 ☞ inside は副詞では「中へ／中で」、形容詞では「内側の」を表す。
- 13 out「外へ／外に」…副  
 副 The children went out after lunch.  
 (子どもたちは昼食後に外へ出た)  
 ☞ out は「外へ」「外に」を表す副詞である。go out(外出する)、come out(出てくる)、find out(見つけ出す)など多くの句動詞で使われる。
- 14 outside「外へ／外で／外側の」…副・形  
 副 The children are playing outside now.  
 (子どもたちは今、外で遊んでいる)  
 形 The outside door was locked.  
 (外側のドアは鍵がかかっていた)  
 ☞ outside は副詞では「外へ／外で」、形容詞では「外側の」を表す。inside の

反対語として覚えるとよい。

- 15 there「そこに／そこで」…副  
副 She stayed there for two hours.

(彼女はそこで2時間滞在した)

- 副 There is a book on the desk.  
(机の上に本がある)

☞ there は通常「そこに／そこで」という副詞だが、There is / are ~ の形では「～がある／いる」という存在を表す構文を作る。

- 16 together「一緒に」…副  
副 We studied English together yesterday.

(私たちは昨日一緒に英語を勉強した)

☞ together は「一緒に」を表す副詞である。work together、live together などの形でもよく使われる。

- 17 upstairs「上の階へ／上の階で」…副  
副 My sister went upstairs quietly.

(妹は静かに上の階へ行った)

☞ upstairs は副詞で、「上の階へ／上の階で」を表す。go upstairs、live upstairs などの形で使われる。

ばならない)

☞ address は名詞では「住所」「演説」、動詞では「対処する」「演説する」を表す。address a problem「問題に対処する」は重要表現。

- 2 again「再び」…副  
1-副 Please read the sentence again.

(その文をもう一度読んでください)

☞ again は「再び」を表す副詞。again and again「何度も」は重要表現。

- 3 although「～だけれども」…接  
1-接 Although it was raining, we went outside.

(雨が降っていたけれども、私たちは外へ出た)

☞ although と though はどちらも接続詞として「～だけれども」を表す。ただし、although は基本的に接続詞のみとして用いられる。一方、though は接続詞として使えるだけでなく、文末や文中で「でもね／もっとも」という意味の接続副詞としても使える。

- 4 another「もう一つの／別のもの」…形・代  
1-形 I need another notebook for class.

(私は授業用にもう一冊ノートが必要だ)

- 2-代 This answer is wrong. Please choose another.

(この答えは間違っている。別のものを選びなさい)

☞ another は an + other からできた語で、「もう一つの」「別のもの」を表す。形容詞として another book のように名詞を修飾し、代名詞として choose another のように単独でも使える。基本的に単数を表す。

### 品詞に注意する語

- 1 address「住所／演説／対処する・演説する」…名・動

- 1-名 Please write your address on this form.

(この用紙に住所を書いてください)

- 2-名 The president gave an address to the nation.

(大統領は国民に向けて演説をした)

- 3-動 We must address this problem soon.

(私たちはこの問題にすぐ対処しなければならぬ)

- 5 being「存在／～であること／～なので」  
…名・動名・分  
1- 名 Human beings need language to communicate.  
(人間は意思疎通するために言語を必要とする)  
2- 動名 Being honest is important.  
(正直であることは大切だ)  
3- 分 Being tired, I went to bed early.  
(疲れていたのに、私は早く寝た)  
☝ being は be の動名詞・現在分詞である。Being honest のように主語になると動名詞、「～なので」という分詞構文では現在分詞として働く。また human being では「人間」という名詞になる。
- 6 book「本／予約する」…名・動  
1- 名 I bought a new book yesterday.  
(私は昨日新しい本を買った)  
2- 動 We booked a hotel near the station.  
(私たちは駅の近くのホテルを予約した)  
☝ book は名詞では「本」、動詞では「予約する」を表す。book a hotel、book a ticket は頻出表現。
- 7 but「しかし／～以外」…接・前  
1- 接 I was tired, but I kept studying.  
(私は疲れていたが、勉強を続けた)  
2- 前 Everyone but Tom came to the meeting.  
(トム以外は全員会議に来た)  
3- 副 He is but a child.  
(彼はほんの子どもにすぎない)  
☝ but は接続詞では「しかし」、前置詞では「～以外」、副詞では「ほんの／ただ～にすぎない」を表す。anything but ～「決して～でない」、nothing but ～「～にすぎない」も重要。また、まれに接続詞 but が that ～ not の意味を表し、「～しないでは」「～でないことはない」のように使われることがある。例 It never rains but it pours.「降れば必ず土砂降りになる」。
- 8 can「～できる／缶」…助・名  
1- 助 I can solve this problem.  
(私はこの問題を解くことができる)  
2- 名 Please open this can of juice.  
(このジュースの缶を開けてください)  
☝ can は助動詞では「～できる」、名詞では「缶」を表す。品詞で意味が大きく変わる。
- 9 case「場合・事件・箱」…名  
1- 名 In that case, we should wait.  
(その場合、私たちは待つべきだ)  
2- 名 The police studied the case carefully.  
(警察はその事件を注意深く調べた)  
☝ case は「場合」「事件」「入れ物」を表す。in case S V「～するといけないから」も重要。
- 10 clean「きれいな／掃除／掃除する」…形・名・動  
1- 形 This room is clean and bright.  
(この部屋は清潔で明るい)  
2- 名 The kitchen needs a clean today.  
(台所は今日、掃除が必要だ)  
3- 動 Please clean your room before dinner.  
(夕食前に部屋を掃除しなさい)  
☝ clean は形容詞では「きれいな」、名

詞では「掃除」、動詞では「掃除する」を表す。品詞が変わっても「きれいにする」という中心イメージは共通している。

- 11 clear「明らかな・澄んだ／空き地／片づける」…形・名・動

1-形 Her explanation was very clear.

(彼女の説明はとても明確だった)

2-名 We stood in the clear.

(私たちは開けた場所に立っていた)

3-動 Please clear the table after dinner.

(夕食後にテーブルを片づけなさい)

👉 clear は形容詞では「明らかな・澄んだ」、名詞では「開けた場所」、動詞では「取り除く・片づける」を表す。動詞の clear は入試でも頻出。

- 12 close「近い・親しい／終わり／閉める」…形・名・動

1-形 My school is close to the station.

(私の学校は駅に近い)

2-名 The story came to a close.

(その物語は終わりを迎えた)

3-動 Please close the door quietly.

(静かにドアを閉めてください)

👉 close は形容詞では「近い」、動詞では「閉める」を表す。形容詞の発音は [kləʊs]、動詞の発音は [kləʊz] で異なる。

- 13 cold「寒い・冷たい／風邪」…形・名

1-形 It was cold outside this morning.

(今朝、外は寒かった)

2-名 I caught a cold last week.

(私は先週風邪をひいた)

👉 cold は形容詞では「寒い・冷たい」、

名詞では「風邪」を表す。catch a cold は頻出。

- 14 count「数える／重要である／数」…動・名

1-動 Please count the students in this room.

(この部屋の生徒を数えてください)

2-動 Every minute counts before the test.

(試験前は一分一分が重要だ)

3-名 The final count was thirty-two.

(最終的な数は32だった)

👉 count は「数える」だけでなく、「重要である」の意味でも使う。Every second counts.「一秒一秒が大切だ」は重要表現。

- 15 deal「取引・量／扱う・配る」…名・動・副

1-名 They made a deal with the company.

(彼らはその会社と取引をした)

2-動 This book deals with environmental problems.

(この本は環境問題を扱っている)

3-副 This test is a great deal harder than the last one.  
(このテストは前回のものよりずっと難しい)

👉 deal は名詞では「取引」、動詞では deal with A「Aを扱う／Aに対処する」を表す。a great deal は副詞句として比較級を強め、「ずっと／はるかに」の意味になる。a great deal of ～ は「多量の～」で、主に不可算名詞を修飾する。

- 16 dry「乾いた／乾いた状態／乾かす」…形・名・動

1-形 This towel is completely dry.  
(このタオルは完全に乾いている)

- 2-名 Keep the clothes in the dry.  
(服を乾いた場所に置いておきなさい)
- 3-動 Please dry your hands here.  
(ここで手を乾かしてください)
- ☝ dry は形容詞では「乾いた」、動詞では「乾かす」を表す。名詞では in the dry「乾いた場所で」のような表現で使われる。
- 17 during「～の間に」…前  
1-前 I studied English during the summer vacation.  
(私は夏休みの間に英語を勉強した)
- ☝ during と while はどちらも「～の間に」を表すが、during は前置詞なので後ろに名詞、while は接続詞なので後ろに S+V が続く。
- 18 early「早い／早く」…形・副  
1-形 We took an early train today.  
(私たちは今日早い電車に乗った)
- 2-副 He got up early this morning.  
(彼は今朝早く起きた)
- ☝ early は形容詞と副詞で同形である。earlyly とはならないので注意。
- 19 even「～でさえ／平らな／平らにする」…副・形・動  
1-副 Even a child can understand this rule.  
(子どもでさえこの規則を理解できる)
- 2-形 The road is even and easy to walk on.  
(その道は平らで歩きやすい)
- 3-動 They evened the ground before building.  
(彼らは建設前に地面を平らにした)
- ☝ 副詞の even は「～でさえ」「さらに」という強調を表す。even if、even more は頻出。
- 20 far「遠い／遠くに／はるかに」…形・副  
1-形 The station is not very far from here.  
(その駅はここからそれほど遠くない)
- 2-副 He lives far away from the city.  
(彼はその都市から遠く離れた所に住んでいる)
- 3-副 This book is far more useful than that one.  
(この本はあの本よりはるかに役に立つ)
- ☝ far は比較級を強調して far better、far more important のようにも使われる。
- 21 fast「速い／速く」…形・副  
1-形 This is a fast train.  
(これは速い電車だ)
- 2-副 He can run very fast.  
(彼はとても速く走れる)
- ☝ fast は形容詞と副詞で同形である。fastly は通常使わない。
- 22 figure「数字・人物・姿／考える・判断する」…名・動  
1-名 Please check these figures carefully.  
(これらの数字を注意深く確認してください)
- 2-名 He is an important figure in science.  
(彼は科学界の重要人物だ)
- 3-動 I figured that he was right.  
(私は彼が正しいと思った)
- ☝ figure は名詞では「数字」「人物」「姿」、動詞では「考える」「判断する」を表す。figure out「Aを理解する／解決する」は頻出。
- 23 fine「細かい・元気な・晴れた／罰金／罰金を科す」…形・名・動

1-形 I feel fine today.

(私は今日元気です)

2-名 He paid a fine for parking there.

(彼はそこに駐車したことで罰金を払った)

3-動 The police fined him for speeding.

(警察はスピード違反で彼に罰金を科した)

👉 fine は形容詞では「元気な」「晴れた」「細かい」「立派な」など多くの意味を持つ。名詞では「罰金」、動詞では「罰金を科す」を表す。

24 fire「火／火事／発射する・解雇する」…名・動

1-名 The fire spread quickly through the building.

(その火事は建物中に急速に広がった)

2-動 The company fired several workers.

(その会社は数人の労働者を解雇した)

👉 fire は名詞では「火・火事」、動詞では「発射する」「解雇する」を表す。be fired は「解雇される」の意味で頻出。

25 free「自由な・無料の／無料／解放する」…形・名・動

1-形 This ticket is free for students.

(このチケットは生徒には無料だ)

2-名 Children under five travel for free.

(5歳未満の子どもは無料で旅行できる)

3-動 They freed the bird from the cage.

(彼らは鳥をかごから解放した)

👉 free は形容詞では「自由な・無料の」、動詞では「解放する」を表す。for

free は「無料で」という重要表現。

26 given「与えられた／～を考慮すると」…過分・前

1-過分 The given answer was not correct.

(与えられた答えは正しくなかった)

2-前 Given his age, he runs very fast.

(彼の年齢を考慮すると、彼はとても速く走る)

👉 given は give の過去分詞として「与えられた」という意味を表す。また、文頭で Given A, S V の形になると、前置詞的に「A を考慮すると」という意味になる。

27 good「よい／利益」…形・名

1-形 This is a good example for beginners.

(これは初心者にとってよい例だ)

2-名 Exercise does you good.

(運動はあなたのためになる)

👉 good は基本的には形容詞で「よい」を表す。一方、名詞では「利益／よいこと」の意味になり、do A good「A のためになる」、for the good of ～「～の利益のために」などの形で使われる。

28 grave「重大な／墓」…形・名

1-形 This is a grave problem.

(これは重大な問題だ)

2-名 They visited his grave last week.

(彼らは先週彼の墓を訪れた)

👉 grave は形容詞では「重大な」、名詞では「墓」を表す。serious と似た意味で入試でも見られる。

29 high「高い／高く」…形・副

1-形 This wall is too high to climb.

(この壁は高すぎて登れない)

- 2-副 The bird flew high in the sky.  
(その鳥は空高く飛んだ)  
☞ high は形容詞と副詞で同形。highly は「非常に」「高く評価して」の意味であり、物理的な高さには普通 high を用いる。
- 30 issue「問題・発行物／発行する」…名・動  
1-名 This is an important social issue.  
(これは重要な社会問題だ)  
2-名 I bought the latest issue of the magazine.  
(私はその雑誌の最新号を買った)  
3-動 The office issued a new notice.  
(事務所は新しい通知を発行した)  
☞ issue は名詞では「問題」「発行物」、動詞では「発行する」を表す。social issue、issue a statement は頻出。
- 31 just「ちょうど／公正な」…副・形  
1-副 I have just finished my homework.  
(私はちょうど宿題を終えたところだ)  
2-形 He is a just and honest judge.  
(彼は公正で正直な裁判官だ)  
☞ 副詞の just は「ちょうど」「たった今」「まさに」など多くの意味で使われる。形容詞の just は「公正な」の意味で、justice(正義)と同語源である。
- 32 kind「種類／親切な」…名・形  
1-名 What kind of music do you like?  
(あなたはどんな種類の音楽が好きですか)  
2-形 She was kind to everyone.  
(彼女はみんなに親切だった)  
☞ kind は名詞では「種類」、形容詞では「親切な」を表す。a kind of ~、this kind of ~ は頻出。形容詞用法では be kind to A の形を取る。
- 33 last「最後の／最後／続く」…形・名・動  
1-形 I saw him last week.  
(私は先週彼に会った)  
2-名 This is the last of the cake.  
(これがそのケーキの最後だ)  
3-動 The meeting lasted two hours.  
(会議は2時間続いた)  
☞ last は形容詞では「最後の」、名詞では「最後」、動詞では「続く」を表す。last week のような時間表現は頻出。
- 34 late「遅い／遅く」…形・副  
1-形 He was late for school today.  
(彼は今日学校に遅刻した)  
2-副 She came home late last night.  
(彼女は昨夜遅く帰宅した)  
☞ late は形容詞と副詞で同形である。lately は「最近」という別の意味なので混同しないこと。
- 35 light「軽い・明るい／光／火をつける」…形・名・動  
1-形 This bag is light enough for me.  
(このかばんは私には十分軽い)  
2-名 The light in this room is weak.  
(この部屋の明かりは弱い)  
3-動 Please light the candle carefully.  
(ろうそくに注意して火をつけなさい)  
☞ light は形容詞では「軽い・明るい」、名詞では「光」、動詞では「火をつける」を

- 表す。意味の広い重要語である。
- 36 likely「おそらく／ありそうな」…副・形  
 1-副 He will likely pass the exam.  
 (彼はおそらく試験に合格するだろう)  
 2-形 It is likely that he will pass the exam.  
 (彼が試験に合格する可能性が高い)  
 ☝ likely は副詞では「おそらく」、形容詞では「ありそうな／可能性が高い」を表す。副詞の likely は will likely V のように助動詞と動詞の間に置かれることが多い。
- 37 line「線・列／線を引く・並べる」…名・動  
 1-名 Draw a straight line here.  
 (ここにまっすぐな線を引きなさい)  
 2-名 We stood in line for tickets.  
 (私たちはチケットを買うために列に並んだ)  
 3-動 Please line up quietly.  
 (静かに並んでください)  
 ☝ line は名詞では「線・列」、動詞では「並べる」を表す。line up「並ぶ」は重要表現。
- 38 live「生きている・生放送の／生きる・住む」…形・動  
 1-形 The program was broadcast live across the country.  
 (その番組は全国に生中継された)  
 2-形 Many live animals were kept in the zoo.  
 (多くの生きた動物がその動物園で飼われていた)  
 3-動 My grandparents live in Kyoto.  
 (私の祖父母は京都に住んでいる)  
 ☝ live は動詞では「生きる」「住む」を表す。形容詞では「生きている」「生放送の」の意味になる。動詞は [lɪv]、形容詞は [laɪv] と発音が異なる。
- 39 long「長い／長く」…形・副  
 1-形 This is a very long story.  
 (これはとても長い話だ)  
 2-副 I waited long for your answer.  
 (私はあなたの返事を長く待った)  
 ☝ 現代英語では副詞の long よりも for a long time や long before の形で使われることが多い。比較級 longer、最上級 longest も重要。
- 40 lot「たくさん／区画・土地」…名・副・形  
 1-名 They bought a small lot near the river.  
 (彼らは川の近くに小さな土地を買った)  
 2-副 I learned a lot from this lesson.  
 (私はこの授業から多くのことを学んだ)  
 3-形 A lot of students joined the event.  
 (たくさんのお客がその行事に参加した)  
 ☝ lot は名詞では「区画・土地」を表す。a lot は副詞的に「たくさん／大いに」の意味で動詞を修飾する。a lot of ～ は形容詞句として名詞を修飾し、「たくさん」を表す。可算名詞・不可算名詞の両方に使える。
- 41 matter「問題・事柄／重要である」…名・動  
 1-名 This is an important matter for us.  
 (これは私たちにとって重要な問題だ)  
 2-動 Your opinion matters to everyone here.  
 (あなたの意見はここにいる全員にとって重要だ)  
 ☝ matter は名詞では「問題・事柄」、動詞では「重要である」を表す。What

- matters is ~「重要なのは～だ」は頻出。
- 42 mean「意味する／意地悪な・平均の」…動・形・名  
 1-動 What does this word mean?  
 (この単語は何を意味しますか)  
 2-形 He was mean to his little brother.  
 (彼は弟に意地悪だった)  
 3-名 The mean of these numbers is five.  
 (これらの数の平均は5である)  
 ☞ mean は動詞では「意味する」、形容詞では「意地悪な」、名詞では「平均」を表す。What do you mean?「どういう意味ですか」は頻出。
- 43 mind「心／気にする」…名・動  
 1-名 She has a brilliant mind.  
 (彼女は優れた頭脳を持っている)  
 2-動 Do you mind opening the window?  
 (窓を開けてもらえますか)  
 ☞ mind は名詞では「心・頭脳」、動詞では「気にする」を表す。mind Ving「～するのを嫌がる」、Never mind.「気にしないで」は重要表現。
- 44 minute「分／微小な」…名・形  
 1-名 Please wait for five minutes.  
 (5分待ってください)  
 2-形 There was a minute difference between the two answers.  
 (2つの答えの間にはごく小さな違いがあった)  
 ☞ minute は名詞では「分」、形容詞では「微小な」を表す。発音も異なり、名詞は [mínit]、形容詞は [maɪnjú:t] に近い。
- 45 once「一度／かつて／いったん～すると」…副・接  
 1-副 I have visited Kyoto once.  
 (私は京都を一度訪れたことがある)  
 2-副 This town was once very quiet.  
 (この町はかつてとても静かだった)  
 3-接 Once you understand the rule, the problem becomes easy.  
 (いったんその規則を理解すれば、その問題は簡単になる)  
 ☞ once は副詞では「一度」「かつて」、接続詞では「いったん～すると」を表す。接続詞の once の後ろには S+V が続く。once S V「いったんSがVすると」は入試でもよく出る。
- 46 oneself「自分自身／自分で」…代  
 代：One should take care of oneself.  
 (人は自分自身を大切にすべきだ)  
 代：One must learn to think for oneself.  
 (人は自分で考えることを学ばなければならない)  
 代：One should not compare oneself with others.  
 (人は自分自身を他人と比べるべきではない)
- 47 ☞ oneself は one に対応する再帰代名詞で、「自分自身」を表す。目的語として take care of oneself「自分自身を大切に」、compare oneself with others「自分を他人と比べる」のように使う。また、for oneself は「自分で／自分のために」という重要表現。
- 48 open「開いている／公開大会／開ける」…形・名・動  
 1-形 The door is open now.

(ドアは今開いている)

2- 名 The tennis open starts tomorrow.

(そのテニスの公開大会は明日始まる)

3- 動 Please open the window quietly.

(静かに窓を開けてください)

👉 open は形容詞では「開いている」、動詞では「開ける」を表す。the Australian Open のように大会名として名詞でも使われる。

49 other「ほかの／ほかのもの」…形・代

1- 形 Some students like math, but other students like English.

(数学が好きな生徒もいるが、ほかの生徒は英語が好きだ)

2- 代 Some students like math, but others like English.

(数学が好きな生徒もいるが、ほかの生徒は英語が好きだ)

👉 other は形容詞として other students のように名詞を修飾する。代名詞として使う場合は others の形になることが多い。another は単数、others は複数と整理するとよい。

50 otherwise「さもなければ／別の方法で／別の状態の」…副・接副・形

1- 副 Please hurry; otherwise, we will miss the train.

(急いでください。さもなければ、私たちは電車に乗り遅れます)

2- 副 He seemed angry, but he said otherwise.

(彼は怒っているようだったが、そうではないと言った)

3- 形 I thought the situation was serious, but it was otherwise.

(私は状況が深刻だと思ったが、実際は

そうではなかった)

👉 otherwise は接続副詞では「さもなければ」、副詞では「別の方法で／そうではなく」、形容詞では be otherwise の形で「実際はそうではない」を表す。

51 own「自分自身の／所有する」…形・動

1- 形 She has her own room.

(彼女は自分自身の部屋を持っている)

2- 動 My uncle owns a small shop.

(私のおじは小さな店を所有している)

👉 own は形容詞では「自分自身の」、動詞では「所有する」を表す。one's own ~「自分自身の～」が基本形。

52 past「過去／～を過ぎて」…名・前

1- 名 We can learn many lessons from the past.

(私たちは過去から多くの教訓を学べる)

2- 前 The bus stop is just past the bank.

(バス停は銀行を少し過ぎたところにある)

👉 past は名詞では「過去」、前置詞では「～を過ぎて」を表す。in the past「過去に」は重要表現。

53 point「点・要点／指さす」…名・動

1- 名 That is an important point.

(それは重要な点だ)

2- 動 He pointed at the picture.

(彼はその絵を指さした)

👉 point は名詞では「点・要点」、動詞では「指さす」を表す。point out「指摘する」は頻出。

54 post「郵便・柱・職／投稿する・郵送する」…名・動

1- 名 I sent the letter by post.

(私はその手紙を郵便で送った)

2- 名 He got an important post in the company.

- (彼は会社で重要な職を得た)  
 3-動 She posted a photo online.  
 (彼女は写真をオンラインに投稿した)  
 📌 post は名詞では「郵便・柱・職」、動詞では「投稿する・郵送する」を表す。  
 post A online は現代英語で頻出。
- 55 present「贈り物／現在の・出席している／提示する」…名・形・動  
 1-名 She gave me a birthday present.  
 (彼女は私に誕生日プレゼントをくれた)  
 2-形 All students were present today.  
 (今日は全員の生徒が出席していた)  
 3-動 They presented their ideas clearly.  
 (彼らは自分たちの考えを明確に発表した)  
 📌 present は名詞では「贈り物」、形容詞では「現在の・出席している」、動詞では「提示する」を表す。品詞によって意味が大きく変わる代表語である。
- 56 pretty「かわいい／かなり」…形・副  
 1-形 She has a pretty bag.  
 (彼女はかわいいかばんを持っている)  
 2-副 This question is pretty difficult.  
 (この問題はかなり難しい)  
 📌 pretty は形容詞では「かわいい」、副詞では「かなり」を表す。副詞の pretty は very よりやや口語的な表現である。
- 57 rather「かなり／むしろ／いやむしろ」…副  
 副 : This question is rather difficult.  
 (この問題はかなり難しい)  
 副 : I would rather stay home today.  
 (私は今日はむしろ家にいたい)  
 副 : He is not a teacher but rather a writer.  
 (彼は教師ではなく、むしろ作家だ)  
 副 : He is a teacher, or rather, a researcher.  
 (彼は教師、いやむしろ研究者だ)  
 📌 rather は副詞で、「かなり」「むしろ」を表す。would rather V、rather than ~、not A but rather B は重要表現。また、or rather は「いやむしろ／もっと正確に言えば」という意味で、前に述べた内容を言い直すときに使う。
- 58 respect「尊敬／点・面／尊敬する」…名・動  
 名 : We should show respect for other people.  
 (私たちは他人に敬意を示すべきだ)  
 名 : In this respect, your idea is correct.  
 (この点では、あなたの考えは正しい)  
 動 : Students should respect different opinions.  
 (生徒は異なる意見を尊重すべきだ)  
 📌 respect は名詞では「尊敬」だけでなく「点・面」の意味もある。in this respect「この点で」、in many respects「多くの点で」は重要表現。動詞では「尊敬する／尊重する」を表す。
- 59 save「救う・節約する／～を除いて」…動・前  
 1-動 This machine saves time and energy.  
 (この機械は時間とエネルギーを節約する)  
 2-前 All the students passed the test save one.

(一人を除いて全員が試験に合格した)

👉 save は動詞では「救う・節約する」、前置詞では「～を除いて」を表す。前置詞用法はやや硬い表現である。

60 say「言う／たとえば」…動・副

1-動 Please say your answer clearly in class.

(授業で答えをはっきり言いなさい)

2-副 We need a short break, say, ten minutes.

(私たちは短い休憩が必要です、たとえば10分くらい)

👉 say は, say, の形で文中に挿入され、「たとえば」という意味を表す。この say は前置詞ではなく、副詞的な挿入表現である。

61 score「得点／得点する／20」…名・動

名: Her score was the highest in the class.

(彼女の得点はクラスで最も高かった)

動: He scored three goals in the game.

(彼はその試合で3点を取った)

👉 score は名詞では「得点」だけでなく、古い用法で「20」を表すことがある。a score of ~ は「20の～」という意味。ただし現代英語ではやや文語的・古風で、日常では twenty を使うのが普通。動詞では「得点する」を表す。

62 second「2番目の／秒／支持する」…形・名・動

1-形 This is my second visit to Kyoto.

(これは私の2回目の京都訪問だ)

2-名 Please wait a second.

(少し待ってください)

3-動 I second your opinion.

(私はあなたの意見に賛成します)

👉 second は「2番目の」「秒」だけでなく、動詞で「支持する／賛成する」の意味もある。

63 sort「種類／分類する」…名・動

1-名 What sort of book do you want?

(あなたはどんな種類の本がほしいですか)

2-動 Please sort these cards by color.

(これらのカードを色で分類してください)

👉 sort は名詞では「種類」、動詞では「分類する」を表す。a sort of ~「一種の～」は頻出。

64 sound「音／健全な・しっかりした／鳴る」…名・形・動

1-名 I heard a strange sound outside.

(私は外で奇妙な音を聞いた)

2-形 His idea sounds simple but sound.

(彼の考えは単純だがしっかりしている)

3-動 The bell sounded at noon.

(正午にベルが鳴った)

👉 sound は名詞では「音」、形容詞では「健全な・しっかりした」、動詞では「音がする」を表す。sound advice「適切な助言」は頻出。

65 spell「つづる／期間・呪文」…動・名

1-動 Can you spell your name?

(あなたの名前をつづれますか)

2-名 We had a short spell of rain.

(短い雨の期間があった)

3-名 The witch used a magic spell.

(魔女は魔法の呪文を使った)

👉 spell は動詞では「つづる」、名詞で

- は「期間」「呪文」を表す。a spell of rain「ひとしきりの雨」はやや発展表現。
- 66 stand「立つ／売店・台」…動・名  
 1-動 Please stand near the door.  
 (ドアの近くに立ってください)  
 2-名 We bought juice at a small stand.  
 (私たちは小さな売店でジュースを買った)  
 ☞ stand は動詞では「立つ」、名詞では「売店・台」を表す。can't stand Ving「～に耐えられない」も重要。
- 67 still「まだ／静かな／それでも／さらに別の」…副・形・接副  
 1-形 The lake was still in the morning.  
 (朝、その湖は静かだった)  
 2-接副 It was raining; still, we went out.  
 (雨が降っていた。それでも、私たちは外出した)  
 3-副 He is still studying in the library.  
 (彼はまだ図書館で勉強している)  
 4-副 Some students like math; still others prefer history.  
 (数学が好きな生徒もいる。さらに別の生徒は歴史を好む)  
 ☞ still は「まだ」の副詞が最も基本だが、接続副詞としては「それでも」、still others では「さらに別の」という意味を表す。still others の still は副詞で、others を強めている。
- 68 straight「まっすぐな／まっすぐに」…形・副  
 1-形 Draw a straight line here.  
 (ここにまっすぐな線を引きなさい)  
 2-副 Go straight along this street.  
 (この通りをまっすぐ進みなさい)  
 ☞ straight は形容詞と副詞で同形である。straightly は通常使わない。
- 69 therefore「それゆえに」…接副  
 1-接副 It was raining; therefore, we stayed home.  
 (雨が降っていた。それゆえに、私たちは家にいた)  
 ☞ therefore は接続詞ではなく接続副詞である。文と文を論理的につなぎ、「それゆえに」「したがって」を表す。ただし、therefore だけで文と文を直接つなぐことはできない。セミコロン ; は文法的に等位接続詞に近い働きをし、独立した 2 つの文を結ぶことができる。そのため、S V; therefore, S V の形は正しい。
- 70 (×) It was raining, therefore we stayed home.「雨が降っていた、それゆえに私たちは家にいた」(○) It was raining; therefore, we stayed home.「雨が降っていた。それゆえに、私たちは家にいた」(○) It was raining. Therefore, we stayed home.「雨が降っていた。それゆえに、私たちは家にいた」
- 71
- 72 train「列車／訓練する」…名・動  
 1-名 The train arrived at the station.  
 (列車が駅に到着した)  
 2-動 They train every morning for the race.  
 (彼らはそのレースのために毎朝訓練している)  
 ☞ train は名詞では「列車」、動詞では「訓練する」を表す。training「訓練」、

trainer「訓練する人・トレーナー」も重要派生語である。

73 trip「旅行／つまずく」…名・動

1-名 We enjoyed our school trip.  
(私たちは修学旅行を楽しんだ)

2-動 I tripped on the stairs yesterday.

(私は昨日階段でつまずいた)

☞ trip は名詞では「旅行」、動詞では「つまずく」を表す。travel より短期間の旅行を指すことが多い。

74 turn「回転・順番／曲がる・変わる」…名・動

1-名 It is your turn to read the sentence.

(その文を読むのはあなたの番だ)

2-動 Turn right at the next corner.

(次の角で右に曲がりなさい)

3-動 The leaves turned yellow in autumn.

(葉は秋に黄色くなった)

☞ turn は名詞では「順番」、動詞では「曲がる」「～になる」を表す。turn A into B「AをBに変える」は頻出表現。

75 until「～まで」…接・前

1-接 Wait here until I come back.  
(私が戻るまでここで待ちなさい)

2-前 The store is open until nine.  
(その店は9時まで開いている)

☞ until は接続詞なら後ろに S+V、前置詞なら後ろに名詞が続く。until tomorrow と until he comes の違いを理解しておくこと。

76 way「道／方法」…名

1-名 This is the shortest way to the station.

(これが駅への最短の道だ)

2-名 There is no easy way to learn English.

(英語を学ぶ簡単な方法はない)

3-名詞節 I like the way he explains grammar.

(私は彼が文法を説明するやり方が好きだ)

4-副詞節 She smiled the way her mother did.

(彼女は母親がしたように笑った)

☞ the way S V は大きく2つに分けられる。1つ目は「SがVするやり方」という名詞節の用法で、I like the way he explains grammar. のように目的語になる。2つ目は「SがVするように」という副詞節の用法で、She smiled the way her mother did. のように動詞を修飾する。

77 wear「身につける／すり減る」…動

1-動 She wears glasses every day.

(彼女は毎日眼鏡をかけている)

2-動 These shoes wear quickly.  
(この靴はすぐにすり減る)

☞ wear は「身につける」という動作ではなく、「身につけている状態」を表す。put on「身につける」という動作との違いが重要。

78 well「上手に／健康な／井戸」…副・形・名

1-副 She speaks English very well.

(彼女は英語をととても上手に話す)

2-形 I feel well today.

(私は今日体調がよい)

3-名 The villagers got water from a well.

(村人たちは井戸から水をくんだ)

👉 well は副詞・形容詞・名詞で意味が大きく異なる。特に good(形)と well(副)の区別は重要である。

79 will「意志／遺言／～するつもりだ」…  
名・助

1-名 He has a strong will.

(彼は強い意志を持っている)

2-名 His will was read after his death.

(彼の遺言は死後に読み上げられた)

3-助 I will help you tomorrow.

(私は明日あなたを手伝うつもりだ)

👉 will は助動詞として未来・意志を表すが、名詞では「意志」「遺言」を表す。free will「自由意志」は重要表現。

80 wrong「間違った／悪いこと／不当に扱う」…形・名・動

1-形 Your answer is wrong this time.

(今回、あなたの答えは間違っている)

2-名 We must know right from wrong.

(私たちは善悪を知らなければならない)

3-動 He wronged his friend with careless words.

(彼は不注意な言葉で友人を不当に扱った)

👉 wrong は形容詞では「間違った」、名詞では「悪いこと」、動詞では「不当に扱う」を表す。know right from wrong「善悪を区別する」は重要表現。

81 yet「まだ／しかし／さらに」…副・接

1-接 It was cold, yet we went outside.

(寒かった。しかし、私たちは外へ出た)

2-副 He has not finished his homework yet.

(彼はまだ宿題を終えていない)

3-副 We found yet another problem.

(私たちはさらに別の問題を見つけた)

👉 yet another の yet は副詞で、another を強めて「さらにもう一つの」という意味を表す。否定文の yet「まだ」、接続詞の yet「しかし」と区別して覚えること。